

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4年 3月 15日 (14:00～15:30)
------------------	-----	------------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	小規模職員13名参加(紙面含む)
-------------------	------	------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	4人	0人	13人

前回の改善計画	施設の特性上、全職員が揃う機会が難しいため、情報共有のシステム(ちょうじゅ)の有効活用とカンファレンス(ミーティング)の強化を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	訪問時や送迎時、電話等で状態を確認、昼礼時に他のスタッフにも伝達。本人の言動や様子をちょうじゅ内に記録し、情報の共有に努めた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	7	4	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	5	6	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	5	5	1	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	5	6	1	13

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
利用開始時に行うアセスメントにて知り得た情報を昼礼時に申し送り、情報の共有を図った。本人、家族の希望をお聞きし、必要なサービスの調整を行い、不明な点は家族に確認しながらその内容を職員間で情報共有し、昼礼に参加できなかった職員に対しても電子カルテに情報を残し、いつでも確認できるようにした。通い時など利用開始当初は、慣れるまでの間、関りを多く持ち他の利用者との関係性にも配慮を行った。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
急な利用開始依頼対応時に、十分なアセスメントが出来ないことや新規利用者が同時期に開始となった時に情報が混乱したり煩雑となることがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
サービス導入時こそ丁寧なアセスメントを行い、毎日の昼礼の中で都度都度申し送りを重ね、情報共有していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4年 3月 15日 (14:00～15:30)
------------------	-----	------------------------------

2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	小規模職員13名参加(紙面含む)
--------------------------	------	------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	3人	1人	13人

前回の改善計画	ケアプランで把握している支援だけではなく、利用者がその時その時の『～したい』を実現できるよう業務の配分と人員を確保する。
前回の改善計画に対する取組み結果	人員確保については難しい点もあったが、業務調整にて時間を作ったり、電子カルテ上の『暮らし』『ひと時』等の項目を活用し、本人の思いや行動を記録し、職員が共有することで利用者の『～したい』に対する支援に努めた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	5	4	2	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	5	4	2	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	6	4	1	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	6	4	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の望む暮らし、どうありたいかの思いをくみ取り、目標を理解している。関わりの中で良かった事だけではなく失敗点や、悪かった点も共有し次の対応に活かすように努めた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
認知症で寝たきり状態でコミュニケーションが取れない方への支援の中で、家族様からの情報をもとに目標設定する場合がある。日々のケアでは満足していただけるサービスを心がけていはいるが、長期の目標設定として合致しているのか悩むこともある。またコロナの影響もあり商業施設への外出希望には応えることができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ケアプランを通して目標を理解し日々のケアの中で気づいたことや知り得た情報を記録し個々の思いに沿った支援を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4年 3月 15日 (14:00~15:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	小規模職員13名参加(紙面含む)

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	6人	3人	1人	13人

前回の改善計画	以前の暮らし方を理解するとともに、担当者が本人の声にならない声をミーティングを通して発信していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	日常会話の中から、話題に違和感のないよう生活歴や就業歴など意図して聞き取るように努め、得た情報も昼礼やカンファレンス時に職員間で共有した。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	0	10	3	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	6	2	1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	5	4	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	7	4	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	8	1	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用開始時、家族にも協力いただき負担にならない程度の情報シートを用いてなるべく簡潔に多くの情報を把握できるように努め、情報シートの中から少しずつコミュニケーションを重ね、把握に努めた。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 積極的にコミュニケーションをとるよう心掛け、本人、家族からの聞き取りを行ったが、『以前の暮らし方』を項目を分けても10個以上の把握は困難であった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	本人、家族と積極的な関りを持ち、本人の拘りや生活歴を知ったうえで必要な日常生活の支援を行う。また知り得た情報は職員間で共有し、臨機応変の中でも統一したケアが行えるようにする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4年 3月 15日 (14:00～15:30)
------------------	-----	------------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	小規模職員13名参加(紙面含む)
---------------	------	------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	3人	0	13人

前回の改善計画	管理者、ケアマネジャー等から全職員にどのような地域資源があるのかを理解してもらい職員も利用者様に地域資源を提案できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者がインフォーマルなサービスや地域資源を利用する際には丁寧な説明を行い、職員が情報共有できるようにした。また協力の得られる近隣の方や関わりのある方を知り得たときには都度、フェイスシートに追記している。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	7	4	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	6	3	0	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	6	2	2	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	4	6	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
これまでの支援の関係を壊さないよう、家族や近隣者の協力が得られる事については必要以上の介入を避け、見守りを行い家族や地域の方との繋がりを大切にされた支援に努めた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
元々近隣者と不仲である利用者や交流を拒む利用者への自宅での暮らしは支援しているが、『地域』で暮らしの支援には出来ていないように感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域の窓口である地域包括支援センターへ出向き。地域の資源の情報収集を行い、利用者様に還元できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4年 3月 15日 (14:00~15:30)
------------------	-----	------------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	小規模職員13名参加(紙面含む)
----------------	------	------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	3人	1人	13人

前回の改善計画	『大きな変化』だけに捉われるのではなく、身体の変化、精神の変化、家族の変化など細かな部分まで情報共有に取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアや日々の記録は確実にやっている。出勤時には必ず、ちょうじゅの申し送りを読み込んでから、業務につくようにして情報共有に努めた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4	5	3	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	4	4	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	6	4	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	6	3	1	13

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
事業所でのコロナ感染があった際には主治医、訪問看護師、調剤薬局等や近隣者にも協力頂き、行政機関とも連携をとりながら支援することが出来た。職員の引継ぎの時間には申し送りをを行い、利用者の変化や気づきの点を報告し状態、情報の共有に努め柔軟な対応に努めた。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
夜勤や連休等で、日中の業務から離れてしまうと情報量が多すぎて、情報を把握しきれないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ニーズの変化、身体、精神の変化、ご家族様の変化などちょうじゅの申し送りの中でも色分けを行い、細かな部分まで情報共有ができるように取り組む。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4年 3月 15日 (14:00～15:30)
------------------	-----	------------------------------

6. 連携・協働	メンバー	小規模職員13名参加(紙面含む)
----------	------	------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	コロナ終息の目途は立っていないがでなく、紙面やICTを活用した新しい仕組みで会議を開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	0	4	0	2	6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	0	3	3	6
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	0	0	3	3	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	0	6	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 自治会の掃除当番には毎回参加している。
--------	---

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍でもあり、感染防止の視点より事業所への立ち入りも制限しており、地域との交流は減っている。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 感染防止に努めながらも地域の活動や、イベントには可能な限り参加する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4年 3月 15日 (14:00~15:30)
------------------	-----	------------------------------

7. 運営	メンバー	小規模職員13名参加(紙面含む)
-------	------	------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	地域に根差した事業所作りのために全職員が事業所のあり方について意見を言える環境をつくり、改善するためのカンファレンスを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業所内でのカンファレンスでは職員が意見を言う場が持てた。苦情や意見を昼礼やちようじゅ内で共有することが出来た。地域

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	4	2	3	4	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	4	3	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	6	4	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	0	6	7	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者やご家族様の苦情や意見については真摯に向き合い、情報共有をして改善に努めた。
--------	---

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ禍において運営推進会議は書面での開催となって、対面での意見交換の場がなくなっている。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域に必要とされる拠点となれるよう自治会へ地域の行事には積極的に参加する。
---------------	---

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4年 3月 15日 (14:00～15:30)
------------------	-----	------------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	小規模職員13名参加(紙面含む)
-----------------	------	------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	7人	0人	13人

前回の改善計画	全職員が何かしらの資格取得やスキルアップ研修にさんかする。(オレンジリングや、認知症スキルアップ研修等)
前回の改善計画に対する取組み結果	外部研修については積極的な参加が出来なかったが、法人内のオンライン研修等積極的に行った。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	5	3	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	6	1	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	1	12	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	5	2	1	13

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
法人内の研修や委員会等、職員全員が月1回は必ず参加学ぶ機会をつくり、スキルアップできるように努めた。転倒等のリスクの高い方等日中、夜間の様子を申し送り時間帯による対応方法等も職員同士で共有し予防に努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
地域連絡会には管理者のみしか行けていない。外部研修も一部職員しか参加でいなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
年間の法人内研修の参加率100パーセントを目指し、資質向上に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4年 3月 15日 (14:00～15:30)
------------------	-----	------------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	小規模職員13名参加(紙面含む)
--------------	------	------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	3人	0人	13人

前回の改善計画	フロアでの職員の言動や個人のケアの内容が他の利用者に聞こえている場面も見受けられるため専門用語の使用や声量を意識して個人情報を守り、プライバシーの保護に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	フロア内で発言をしないで済むような確認方法(チェックシート)を活用し、フロア内で個人情報を口頭で発信する機会を減らした。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	13	0	0	0	13
②	虐待は行われていない	13	0	0	0	13
③	プライバシーが守られている	6	5	2	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	2	1	0	3
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9	3	1	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束、虐待防止の研修を行っており、安全面を配慮するような拘束を含め、一切身体拘束は行っていない。虐待についても報告はあがっていない。個人情報についても鍵付きのカルテ庫に保管。フロア内で使用する電子カルテ用のパソコンにも覗き見防止フィルターを張り、使用者以外は見れないようにしている。個人情報が記載された不要な書類についてもシュレッダーを使用し破棄している。定期的に接遇点検を行い個々を尊重したケアを行っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
業務多忙時や人員が少ない時に、口腔ケアや排泄ケアの有無等を声に出して確認してしまっているときがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
フロアでの職員の言動や個人のケアの内容が他の利用者に聞こえないよう配慮し専門用語の使用や声量を意識して個人情報を守り、プライバシーの保護に努める。	